

WT の検討における主要論点について（案）

- 骨太 2018 等を踏まえ、いわゆる一人一社制等の高卒就職慣行等のあり方について、現状把握、課題等について整理・検討を行っていくにあたって、以下のような論点に従って議論していったらどうか。

1. 高卒就職慣行等全般に関する関係者の評価

- 現在の高卒就職慣行について、関係者はどのような全体評価を行っているか。
 - ① 現行の採用慣行に対する生徒の評価等
 - ② 現行の採用慣行に対する高校の進路指導担当の評価等
 - ・ 教員負担の現状、進路指導スキルなど
 - ③ 現行の採用慣行に対する企業側の評価等
 - ・ 指定校の場合とそれ以外の別、時期、採用方法等
 - ④ 現行の採用慣行に対する HW、労働局の評価等
 - ⑤ 規制改革意向を持つ民間職業紹介事業者の評価等

2. 高卒就職慣行等全般に関する現状把握

- 議論の前提として、現在の高卒就職慣行はどのようなパフォーマンスを発揮しているか。
 - ① 高卒就職慣行のパフォーマンス
 - ・ 就職率、就職活動期間、3 年以内離職率の評価など
 - ② 高校 3 年生の就職活動に関する現状と課題、学業との関係性
 - ③ 「学校推薦」制度の意義、役割、実務、課題
 - ④ 企業への「直接応募」の有無と課題
 - ・ 学校（進路指導担当）を介さずに、生徒が直接企業に応募している実態（公務員以外。縁故等の場合を含む。）の有無、実態
 - ・ 民間職業紹介事業者が関与している実例の有無、実態
 - ・ これらの際の「学校推薦」の取扱いの実態 等
 - ⑤ 「指定校」（推薦依頼校）と「非指定校」での採用選考に関する共通点・相違点、それぞれの課題
 - ⑥ 現行の採用慣行下における学校別（専門高校（工業高校、商業高校等）と普通校、定時制高校、通信制高校など）の現状と課題
 - ⑦ 現行の採用慣行下における地域別の現状と課題
 - ⑧ 現行の採用慣行下における特に配慮を要する生徒（発達障害者、障害者等）に対する対応の現状と課題
 - ⑨ 公正採用選考の観点からの高卒就職慣行等の意義、現状と課題、留意事項

3. いわゆる一人一社雇用慣行のあり方

- 都道府県ごとに運用が行われているこれらの慣行について、関係者の評価はどうなっているか。
 - ① いわゆる「一人一社制」の運用実態、評価、課題
 - ② 「複数社」応募の運用実態、評価、課題
 - ③ 何らかの形で直接応募を認める場合のメリット、デメリット、考え得る枠組み

4. 就職活動時期のあり方

- 以下のような現行の採用スケジュールについて、見直すべき点、見直すべきでない点はあるか。特に、学業日程と照らして、現行のスケジュールが、本人が適職を考え、選択するに十分な期間となっているか。
 - ① 6月1日 ハローワークによる求人申込書の受付開始
 - ② 7月1日 企業による学校への求人申込み及び学校訪問開始
 - ③ 9月5日 学校から企業への生徒の応募書類提出開始（沖縄県は8月30日）
 - ④ 9月16日 企業による選考開始及び内定開始
 - ⑤ 10月1日等 県によって異なるものの複数応募解禁
 - ⑥ その後、継続して就職活動を行う場合の実態について

5. HWの関与のあり方

- 現在の高卒就職慣行に対するハローワークの関与について、見直すべき点、見直すべきでない点はあるか。
 - ① 求人受理ルール・運用の現状と課題
 - ② 求人票の公開方法、公開スケジュール等の現状と課題
 - ・ HW を通じて提供される求人情報・職場情報が、高校生の選択に有用かつ十分なものとなっているか。

6. 民間職業紹介・募集事業者の取組実態

- 先進的な取組を行っている民間職業紹介事業者の取組実態として、どのようなことが課題となっており、どのような改善提案があるか。
 - ① 民間職業紹介・募集事業者の現在の就労支援の実態（現状、課題）
 - ② 高卒就職慣行等に対する改善提案

7. ミスマッチ解消に向けた取組

- 高校生の円滑な就労移行を進めるために、取り組んでいくべき課題は何か。
 - ① 主体的な判断力を上げるためのキャリア教育、職業教育の充実の必要性
 - ② 会社見学、インターンなどのあり方
 - ③ その他効果的と期待される取組など

8. その他